

会 議 記 録				
会 議 の 名 称	決算特別委員会 総務文教分科会		会議場所 第3委員会室	
			担当職員 山内	
日 時	平成29年9月20日(水)		開 議	午前10時30分
			閉 議	午後 2時21分
出席委員	◎竹田 ○奥野 三上 田中 山本 小松 福井			
執行機関出席者	片岡議会事務局長、山内議会事務局次長、船越議会事務局副課長、 藤村市長公室長、垣見秘書広報課長、小栗人事課長、山内ふるさと創生課長、 中野人事課能力開発係長、内藤人事課人事係長、阿比留人事課給与係長、 木村企画管理部長、田中企画調整課長、浦財政課長、由良契約検査課長、 小塩企画調整課副課長、山本財政課副課長、清水契約検査課副課長、 今西財政課予算係長、			
事務局	片岡事務局長、山内事務局次長			
傍聴	可・否	市民 0名	報道関係者 0名	議員 0名()

会 議 の 概 要

10 : 30

1 開議

2 分科会委員長あいさつ

3 事務局日程説明

4 議案審査

(1) 平成28年度亀岡市一般会計決算認定について(第6号議案所管分)

10 : 35～

【議会事務局】

議会事務局長 あいさつ

議会事務局次長 説明

《質疑》

<福井委員>

行政視察受入れの人数は。

<議会事務局次長>

行政視察の受入れは、合計で、39件、364人であり、そのうち議会改革関係は、25件、244人となっている。

1件当たりの人数は約10人である。

<三上委員>

政務活動費の決算状況について、説明が聞き取りにくかったので、再度説明願う。

<議会事務局次長>

政務活動費の予算額は432万円で、交付額は430万5千円、決算額は415万

５０２６円、残額は１４万９９７４円となっている。
(質疑終了)

１０：５５

(市長公室 入室)

１０：５７～

【市長公室】

市長公室長 あいさつ

各課長 説明

１１：３５

《質疑》

<山本委員>

歳入で、メンタルヘルスに対して１０万円いただいているという説明があったが、これはストレスチェックに対する補助金ということではなかったか。

<人事課長>

当該収入はストレスチェックに対するものではなく、メンタルヘルス研修に対する助成金である。

<山本委員>

ストレスチェックについては、法改正により平成２８年度に初めて実施された事業と認識しているが、実施状況はどうか。

<人事課長>

労働安全衛生法の改正により、労働者が５０人以上いる事業所では、毎年１回ストレスチェックを実施することが義務付けられている。実施状況については、８４８名に実施し、高ストレスと判定された人は１００名で、うち医師の面談が必要とされた人は３０名であった。

医師の面談は本人の申請により行うこととなっているが、面談の希望者はなかった。

<山本委員>

ストレスチェックの結果を受けて、職場の改善について検討されたことはあったか。

<人事課長>

仕事量等で判定される健康リスク値というのがあり、全国平均を「１００」として、「１２０」を超えた場合は何らかの対応が必要となり、「１５０」を超えてしまうとすでに健康問題が顕在化している場合が多く、早急な対応が必要とされている。

本市の健康リスク値は「９３」であり、数値的には全国平均を下回る結果となったが、今後もより働きやすい職場環境づくりに努めていきたい。

<福井委員>

巡回健診で、ガレリアかめおかの会場使用料が上がっているが、ガレリアかめおかでないと無理なのか。保健センターではできないのか。

<人事課長>

ガレリアかめおかのコンベンションホールを貸し切って実施している。

各ブースを設けることから、かなりの面積が必要となり、保健センターでは無理と考えている。

<福井委員>

「キラリ☆亀岡おしらせ」は自治会を通じて配布し、広報紙の「キラリ☆亀岡」は新聞折り込みにより配布するということだが、その違いは何か。

<秘書広報課長>

市民に少しでも複数の配布方法で届けるようにしている。

ただ、自治会の加入率の低下や、新聞購読されない方が増えてきている現状を踏まえ、公共施設での配布等の工夫も行っている。

<福井委員>

工夫をしていただいていることは理解した。

「キラリ☆亀岡おしらせ」と「キラリ☆亀岡」は同じものなのか。

<秘書広報課長>

「キラリ☆亀岡おしらせ」は単色の１７～１８ページものの、事業等を周知する案内版であり、「キラリ☆亀岡」は４ページものの広報紙である。

<福井委員>

決算に関する主要施策報告書のＰ１１で、人口動態等データの分析をされたということだが、それは見せてもらえるのか。

<ふるさと創生課長>

見ていただくことは可能である。

<竹田委員長>

委員会に資料として提出していただくということで、よろしく願う。

<福井委員>

Ｐ１４のふるさと納税の関係で、最終的にその収支はどうであったのか。

<ふるさと創生課長>

経費の総額は９２９７万円であった。

寄附金額の１億７３８６万４千円から、経費を差し引いた残りは８０８９万４千円で、経費率は５３％で、市に残るのは４７％である。

<小松委員>

Ｐ８の職員採用試験等委託料６２万円で、これは委託しないとできないものなのか。また、委託先はどこか。

<人事課長>

委託先は、（公財）日本人事試験研究センターである。

公平性等の観点から、本市で作成するのは難しいと考えている。

<小松委員>

Ｐ１０で、地域こん談会が平成２８年度から夜間に実施されたところもあるということだが、以前、一般質問の答弁で、夜間あるいは休日の開催は難しいということであったように思うが、今回、夜間に実施された理由は。

<秘書広報課長>

地域こん談会の夜間開催については、議員から一般質問で提案をいただいたり、また地域からの要望もいただく中で、平成２８年度から一部で夜間開催を取入れたものである。

<小松委員>

出前タウンミーティングについては４７種類のテーマの中から８件実施されたということだが、どのような内容が多かったのか。

<秘書広報課長>

８件のうち３件は文化資料館の「ふる里再発見」というテーマで実施されたもので、残りは、「アユモドキ」「光秀」「後期高齢者医療」等であった。

<小松委員>

Ｐ１１で、移住希望者向け現地ツアーを２回実施されているが、これは市単独の事業か。

<ふるさと創生課長>

市単独事業ではない。

京都府南丹広域振興局と一緒に、「子育てランチ会」として旭町と余部町の2カ所で実施したものである。

<小松委員>

参加人数は。

<ふるさと創生課長>

余部町は2組で4名、旭町はキャンセルがあったこともあり、1組で2名であった。

<山本委員>

P8の貸与被服の関係で、263万9634円の決算額となっているが、人数はどうか。

<人事課長>

トレーニングパンツが218名、作業服が42名、ジャケットが44名である。

<山本委員>

大勢の職員の中でジャケットが44名ということだが、他の自治体では制服をなくしているところも多い中で、本市においては、今後どのように考えているのか。

<人事課長>

市役所内部でも制服について検討しているが、身だしなみが揃うということもあるので、今のところ引き続き制服を着用するという考え方である。

<山本委員>

引き続き制服を着用するということだが、大勢の職員の中で、ジャケットの希望者が44名ということで、制服を着用している職員も少ないように思うので、今後の検討課題として考えていただきたい。

<人事課長>

更新が44名ということであり、今のところ、制服の着用は義務付けられている。

<三上委員>

嘱託職員、アルバイト職員の人数は。

また前年度との増減の状況はどこでわかるのか。

<人事課長>

人数のわかるところはないが、現在、勤務が週1日から5日までの非常勤嘱託職員が合わせて約300名で、週4日以上で社会保険加入のアルバイト職員が38名、保育所等の臨時職員が34名となっている。

国の働き方改革の中で、同一労働同一賃金という方向性も出ているので、国の方での制度化に合わせて、市の方も準拠していきたいと考えている。

<三上委員>

正規職員の人数は。

<人事課長>

正規職員は、医療職も入れて730名である。

<三上委員>

医療職も含めた正規職員が730名で、非常勤嘱託職員が約300名、アルバイト職員・臨時職員が約70数名であるので、全体の約3分の1が非正規雇用ということになると思うが、どうか。

<人事課長>

割合までは承知していない。

<三上委員>

職員の給与について、他市との比較はどうか。

<人事課長>

職員の給与は国の方に準拠しているが、国を「100」としたラスパイレス指数は98.4%となっている。

(質疑終了)

11:50

(市長公室 退室)

(休憩)

11:50～13:00

(再開)

(冒頭に議会事務局から議会費決算の補足説明)

<議会事務局次長>

午前中の議会費の決算説明の中で、行政視察の受入れ件数について、前年度に比べて4件減少しているという説明をさせていただいたが、申込みを受けていたが担当課の都合や、すでに決定している視察受入れ日程と重なったことで、やむなくお断りさせていただいているのが、30件277名あるということで、補足説明をさせていただきたい。

13:03

(企画管理部 入室)

13:05～

【企画管理部】

企画管理部長 あいさつ
各課長 説明

13:32

《質疑》

<福井委員>

行財政情報サービス(iJAMP)について、国・府で施策が決定されたら、上位の官公庁等から通知があると思うが、それ以外の情報サービスということでよいか。

<企画調整課長>

このシステムは、官庁情報、地方自治体等の区分がされて情報提供されることから、検索しやすくなっている。

他市の状況等を把握しながら施策を考えていく上で、他団体の動きがわかりやすく情報が得られるというのが1番のメリットと考えている。

中央省庁に関しては、新たな施策が出れば、その情報が官庁速報という形で更新されるので、個々の省庁にインターネットから入っていくよりも、わかりやすく情報が入手できる。

<福井委員>

情報を入手して施策に生かすということだが、このサービスを利用できるのは企画調整課のみか。

<企画調整課長>

平成28年度では契約により24のライセンスを得ているが、それにプラスしていただき、100のライセンスを得ている。各課に2つ程度のパスワードを付与しているので、各課で検索は可能となっている。

今年度は経費削減のためライセンス数を減らし、各部にライセンスを与えるような形で見直している。

<福井委員>

利用するのに支障のない形で削減をしていただきたい。

臨時財政対策債について、市債残高全体に占める割合が、平成20年度には20.1%であったものが、平成28年度には35.4%に増加している。

その元利償還金に対しては交付税措置されるということで、国からお金をもらっていて、市の負担はないということによいか。

<財政課長>

臨時財政対策債の元利償還金については、普通交付税の算定経費の中に入っていて、理論的には普通交付税で措置されているということになっている。

<福井委員>

普通交付税で入ってきているという理解によいか。

<財政課長>

そのように理解していただいて結構である。

<小松委員>

P18の職員提案制度については前からあったのか、それとも新たに設けられたのか。

<企画調整課長>

これまでは研究費補助ということで、補助制度で実施してきたところである。

年度当初に提案を募集して、職員がグループを組んで、ほぼ1年間かけて研究を行い、最終的に理事者に対してプレゼンを行うという形で進めてきたが、職員からの応募が減少傾向となったことから、平成28年度は、もう少し職員が気軽に提案できるように見直すこととして、試行的に実施したものである。

職員からの提案については、所管の部署で検討することとしている。

また、提案については、自分の所属以外で行うこととしており、職員が広く施策全般に関心を持つきっかけになるものと思っている。

<小松委員>

素晴らしい取組みであり、新たな施策にもつながるものと思っているが、66人の提案者に対し、参加賞が32人というのはどういうことか。

<企画調整課長>

より多くの提案を求めるという趣旨から、参加賞の定義を複数の提案をした職員としており、1つだけの提案では参加賞の対象とはしていないことによるものである。

<小松委員>

参加賞の人を除いて表彰されたのが5件ということによいか。

<企画調整課長>

8万1千円の内訳として、参加賞の人に1人千円の図書券を出している。

大賞は、ベストいいね賞で2万円、ベスト2で1万円、ベスト3で1万円、職員の投票が多かった提案2つに各3千円、特別賞に3千円で、合計8万1千円となっている。

<田中委員>

P16の小規模修繕工事について、件数等が減少しているが、これ以外にも市全体としては50万円未満の修繕工事が、随意契約等で発注されているように思うが、どうか。

<契約検査課長>

平成22年度からこの制度がスタートしたが、修繕工事という縛りがある中で、各主管課に対して、できるだけこの制度を活用してもらうよう周知を行っている。

今後でもできるだけこの制度を有効に使ってもらえるように検討していきたい。

<田中委員>

できるだけ事業の趣旨を、全庁的にも徹底していただき、受注機会が増えるようにしていただきたい。(要望)

P16の財産管理費の関係で、直接お金のことではないが、予算編成の時期には、職員にかなりの負担がかかるように思うが、多い人で1ヵ月あたりどれくらいの超過勤務をされているのか。

<財政課長>

手元に詳細な資料はないが、ピーク時の多い月では1人100時間を超える残業をしている職員もいる。

<田中委員>

予算編成事務は限られた期間の中でやらざるを得ない面もあると思うが、職員の皆さんには十分、体には気を付けていただきたい。

P18の職員提案制度について、実際に市の施策として実現したものはあるのか。

<企画調整課長>

ベストいいね賞では医療保険、介護保険の還付手続きにおいて、これまでなかった統一様式が実現した。市民課の前の水道水PR用のウォーターサーバー設置についても提案により実現した。また、亀岡の行事食の冊子に掲載された料理を提供してはどうかという提案があったが、烟河で料理の提供が実現した。

その他にも多く実現した提案があり、一部実施の事業が29件、検討を継続するとしたものが42件あった。

(質疑終了)

13:51

(休憩)

13:51～14:10

(再開)

<財政課報告>「健全化判断比率及び資金不足比率の状況」

財政課長 説明

《質疑》

なし

(企画管理部長等 退室)

14:20

<竹田委員長>

それでは、本日の審査はこれまでとする。

明日は10時から再開する。

～散会 14:21